

す

く

す

く

80号



東京都済生会中央病院附属乳児院 2022 年度 第 3 号 2022. 10. 1 発行

東京都済生会中央病院附属乳児院 院長 岡尾 良一

今年は、猛暑日が歴代最多を更新する記録的な夏となりましたが、日差しも柔らぎ秋を感じる季節となつてまいりました。皆様はいかががお過ごしでしょうか。

7 月より、済生会中央病院に出店しているドトールコーヒー様より、乳児院の子どもたちに週 1 回、ソフトクリームを無償で提供して頂けることになりました。普段、口にしない「甘くておいしいソフトクリーム」を子どもたちは、本当においしそうにペロッと食べています。8 月からお庭でのプール開きでは、水浴びで楽しそうに遊ぶ歓喜の音が聞こえて、子どもたちが遊ぶプールへ自然と誘われて様子を見に行くのが楽しみでした。また、すいか割りでは、頑張ってスイカに向かって行く姿がほほえましかったです。9 月の秋祭りでは、それぞれが笑顔で楽しそうに参加して思い出をつくることが出来ました。

元気に遊んでいる子どもたちですが、新型コロナウイルスの第 7 波では、入所の子どもたちが陽性となつてしまい、大変つらい思いをさせてしまいました。職員にも感染が拡がり、済生会中央病院から看護師さんが乳児院に応援に来て頂いたほか、子どもたちは外部の病院に入院させて頂くなど、多大なご支援を頂きました。

最後になりますが、日頃、子どもたちが元気に笑顔で暮らせるのも、関係者の皆様のおかげと感謝しております。今後とも、ご支援よろしくお願いいたします。

院長 岡尾 良一

理 念

「済生の精神」に基づいた思いやりのある養育の提供を通じて社会に貢献します。
 (「済生の精神」とは、分け隔てなくあらゆる人々に医療・福祉を差し伸べることです)

基 本 方 針

「子どもニーズ 子どもファースト」

私たちは、常に子どものことを第一に考え、子どもの目線に立ち、
 子どもの気持ちの代弁者として実践し、一人ひとりの子どもの最善の利益を追求します。

1. 子どもが安心できる環境の中で、個性を尊重し、愛情を注いで養育します。
2. 愛着関係を大切にし、情緒豊かな子どもに育てていきます。
3. 感動や成功体験を通し、子どもの自立心を養っていきます。
4. 子どもの成長の喜びを保護者と共有し、親子関係を大切にしながら養育します。
5. 乳児院職員として、向上心や探究心を持ち、人間性・専門性を高めていきます。



水遊び

夏のお楽しみのひとつに水遊びがあります。お部屋ごとに、庭、テラス、屋上に分かれてプールを設置します。私たち、ひまわりのお部屋の子どもたちは5階の屋上です。屋上には、ふわふわの芝が敷き詰められていて、時々、飛行機やヘリコプターが見えます。遊び方は、子どもごとにそれぞれ個性が出ます。そっと水に足を入れる子、温泉のように気持ち良さそうにくつろいでいる子、顔に水がかかっても気にせず手で水を叩きバシャバシャ大胆に遊ぶ子、バケツやジョーロを使っておままごとを始める子。そんな楽しそうな様子の子どもたちを見ていると、私たち大人も童心にかえり、一緒に水を掛け合ったりして楽しんでしまいます。

保育士 小長谷 香利



スイカ割り

8月の良く晴れた日に、スイカ割りを行いました。とっても大きなスイカが登場すると、子どもたちの目はスイカに釘付けです。じーっと静かに見つめている子、吸い寄せられるように近づいていく子、反応は様々です。職員が作った棒を片手に、勢いよくスイカに向かって進んでいきます。子どもたちは、スイカを目の前にすると少し固まり、悩んだ後に優しく叩いていました。お友だちがスイカの方へ行く時に「がんばれ！」と応援する姿に成長を感じました。終わった後は、目の前で切ってもらい、その場でおいしく頂きました。暑い夏の楽しい1日となりました。

保育士 進藤 美智子



日常の様子

各居室の子どもたちの日々のエピソードをお届けします。

さくら



歩くことが楽しくて仕方がない様子の子、伝い歩きが出来るようになりどんどん隣へ進みたくてうずうずしている子、すり這いや寝返りをする子など発達は様々ですが、お友だちの様子を見ながら笑ったり近づいたりしている姿を見ると、お互いとても良い刺激になっているようです。

乳児にとって初めての水遊びでしたが、桶の水をひっくり返して全身がびしょ濡れになっても気にすることなく楽しんでいました。水遊び後はたくさん遊んで疲れたのか、みんな気持ちよさそうにお昼寝をしていました。



たんぽぽ

先日、種まきをしたカブが育ち、収穫会を行いました。自分の番の時だけではなくお友だちの番の時にも「うんとこしょ！どっこいしょ！」とみんなで応援し、1人1株拔きました。みんな「おおきなかぶ！」と誇らしそうに見せ合っていました。食事の時や『おおきなかぶ』の絵本を見る時は、目を輝かせ「おおきなかぶ、とったね」と嬉しそうに話し、楽しい思い出となっています。



ひまわり



公園へ散歩に行くと、たくさんのセミの抜け殻があり、楽しそうに服にくっつけて遊ぶ子や、怖くて少し離れたところから見る子など反応は様々ですが、夏ならではの体験をすることができました。

毎週土曜日のおやつにはソフトクリームが提供され、冷たそうな顔をしながらも美味しそうに食べています。おやつ後には「あいす、たべたの！」と嬉しそうに話してくれます。



バースデー

これまで毎月のバースデー日には、おやつ時間にみんなでケーキを食べて誕生月のお友だちをお祝いしていました。今年度より、バースデーケーキでのお祝いに加え、誕生日当日もユニットの職員や子どもたち全員でお祝いをするようになりました。

2歳の誕生日を迎えたAくんは、飾りつけされたお部屋に少し緊張しながらも、ユニットの職員やお友達から「おめでとう」とお祝いしてもらおうと嬉しそうに微笑み、プレゼントの絵本やバースデーカードに興味津々に手を伸ばしていました。

たくさんの笑顔に囲まれたたくさんの人にお祝いしてもらうことで、誕生日という1年に1度の日が子どもたちにとって特別な思い出になることを願っています。

保育士 宮野 由貴



支援室だより

東京都では、より幅広く里親制度について理解と関心を深めてもらうために、毎年10月11月の2か月間を里親月間としています。現在、各区や市で行われる里親の実体験を聞くことができる養育体験発表会を始めとしたさまざまな活動が行われております。

里親には特別養子縁組里親、養育家庭里親、専門養育家庭里親、親族里親といった種類があり、東京都では約800家庭を超える登録があります。

乳児院では里親交流支援員と里親支援専門相談員を中心とし、お子さんと里親さんが安心して生活が送れるよう、継続した支援を行っています。

ぜひ里親制度に関心を持っていただき、ひとりでも多くの方に知っていただきたいと思います。

里親支援専門相談員 勝倉 菜穂

スイカとソフトクリームのご寄付をいただきました

毎年8月に大きなスイカをいただいています。



ドトールコーヒー様より

土曜日のおやつにソフトクリームをいただいています。



【0～3歳児の育児にお困りの方へ】

当院では育児相談を平日9～16時に受け付けています。 担当 看護師長 小泉

【寄付金について】

当院では子どもたちの養育環境整備のため寄付金を募っています。 担当 事務 竹田

上記について詳しくは右記までご連絡ください。 TEL 03-3451-8289(直通)

「すくすく 第80号」2022.10.1 発行

〈発行人〉 岡尾 良一

〈編集委員〉 小泉 菜穂子 前田 朋子 栗野 桃子